

手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。



子供がスマートフォンで薬物について検索していたのを見つけて…

最近、子供の様子が変わります。目を合わせて会話をしなくなって…



薬物について相談できる窓口はこちら

北海道	北海道厚生局麻薬取締部	☎011-726-1000	近畿厚生局麻薬取締部神戸分室	☎078-391-0487
	北海道医務薬務課	☎011-204-5265	福井県医薬食品・衛生課	☎0776-20-0347
	北海道立精神保健福祉センター	☎011-864-7121	福井県総合福祉相談所	☎0776-24-7311
	札幌こころのセンター	☎011-622-0556	滋賀県薬務課	☎077-528-3634
東北	東北厚生局麻薬取締部	☎022-227-5700	滋賀県立精神保健福祉センター	☎077-567-5010
	青森県医療薬務課	☎017-734-9289	京都府薬務課	☎075-414-4790
	青森県立精神保健福祉センター	☎017-787-3951	京都府精神保健福祉総合センター	☎075-641-1810
	岩手県健康国保課	☎019-629-5467	京都市こころの健康増進センター	☎075-314-0355
	岩手県精神保健福祉センター	☎019-629-9617	大阪府薬務課	☎06-6941-9078
	宮城県薬務課	☎022-211-2653	大阪府こころの健康総合センター	☎06-6691-2811
	宮城県精神保健福祉センター	☎0229-23-0021	大阪府こころの健康センター	☎06-6922-8520
	仙台市精神保健福祉総合センター	☎022-265-2191	堺市こころの健康センター	☎072-245-9192
	秋田県医療薬務課	☎018-860-1407	兵庫県薬務課	☎078-362-3270
	秋田県精神保健福祉センター	☎018-831-3946	兵庫県精神保健福祉センター	☎078-252-4980
	山形県新型コロナウイルス接種総合企画課	☎023-630-2333	神戸市精神保健福祉センター	☎078-371-1900
	山形県精神保健福祉センター	☎023-624-1217	奈良県薬務課	☎0742-27-8664
	福島県薬務課	☎024-521-7233	奈良県精神保健福祉センター	☎0744-47-2251
	福島県精神保健福祉センター	☎024-535-3556	和歌山県薬務課	☎073-441-2663
関東信越	関東信越厚生局麻薬取締部	☎03-3512-8690	和歌山県精神保健福祉センター	☎073-435-5194
	関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室	☎045-201-0770	中国四国厚生局麻薬取締部	☎082-228-8974
	茨城県薬務課	☎029-301-3388	鳥取県医療・保険課	☎0857-26-7203
	茨城県精神保健福祉センター	☎029-243-2870	鳥取県立精神保健福祉センター	☎0857-21-3031
	栃木県薬務課	☎028-623-3119	島根県薬務衛生課	☎0852-22-5259
	栃木県精神保健福祉センター	☎028-673-8785	島根県立心と体の相談センター	☎0852-21-2045
	群馬県薬務課	☎027-226-2665	岡山県医薬安全課	☎086-226-7341
	群馬県こころの健康センター	☎027-263-1156	岡山県精神保健福祉センター	☎086-201-0828
	埼玉県薬務課	☎048-830-3633	岡山市こころの健康センター	☎086-803-1273
	埼玉県立精神保健福祉センター	☎048-723-3333	広島県薬務課	☎082-513-3221
	さいたま市こころの健康センター	☎048-762-8548	広島県立総合精神保健福祉センター	☎082-884-1051
	千葉県薬務課	☎043-223-2620	広島県精神保健福祉センター	☎082-245-7731
	千葉県精神保健福祉センター	☎043-263-3891	山口県薬務課	☎083-933-3018
	千葉市こころの健康センター	☎043-204-1582	山口県精神保健福祉センター	☎083-902-2672
	東京都薬務課	☎03-5320-4505	四国厚生局麻薬取締部	☎087-823-8800
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	☎03-3302-7575	徳島県薬務課	☎088-621-2233
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	☎042-376-1111	徳島県精神保健福祉センター	☎088-625-0610
	東京都立精神保健福祉センター	☎03-3844-2210	香川県薬務感染症対策課	☎087-832-3300
	神奈川県薬務課	☎045-210-4972	香川県精神保健福祉センター	☎087-804-5566
	神奈川県精神保健福祉センター	☎045-821-8822	愛媛県薬務衛生課	☎089-912-2393
	横浜市中心の健康相談センター	☎045-671-4455	愛媛県心と体の健康センター	☎089-911-3880
	川崎市精神保健福祉センター	☎044-200-3195	高知県薬務衛生課	☎088-823-9682
	相模原市精神保健福祉センター	☎042-769-9818	高知県立精神保健福祉センター	☎088-821-4966
	新潟県感染症対策・薬務課	☎025-280-5187	九州厚生局麻薬取締部	☎092-431-0999
	新潟県精神保健福祉センター	☎025-280-0111	九州厚生局麻薬取締部小倉分室	☎093-591-3561
	新潟市こころの健康センター	☎025-232-5560	福岡県薬務課	☎092-643-3287
	山梨県衛生薬務課	☎055-223-1491	福岡県精神保健福祉センター	☎092-582-7500
	山梨県立精神保健福祉センター	☎055-254-8644	福岡市精神保健福祉センター	☎092-737-8825
	長野県薬務管理課	☎026-235-7159	北九州市立精神保健福祉センター	☎093-522-8729
	長野県精神保健福祉センター	☎026-266-0280	佐賀県薬務課	☎0952-25-7082
東海北陸	東海北陸厚生局麻薬取締部	☎052-961-7000	佐賀県精神保健福祉センター	☎0952-73-5060
	富山県くすり政策課	☎076-444-3234	長崎県薬務行政室	☎095-895-2469
	富山県心の健康センター	☎076-428-1511	長崎県こども・女性・障害者支援センター	☎095-846-5115
	石川県薬務衛生課	☎076-225-1442	熊本県薬務衛生課	☎096-333-2242
	石川県こころの健康センター	☎076-238-5761	熊本県精神保健福祉センター	☎096-386-1166
	岐阜県薬務水道課	☎058-272-8285	熊本市こころの健康センター	☎096-362-8100
	岐阜県精神保健福祉センター	☎058-231-9724	大分県薬務室	☎097-506-2650
	静岡県薬務課	☎054-221-2413	大分県こころからの相談支援センター	☎097-541-5276
	静岡県精神保健福祉センター	☎054-286-9245	宮崎県医療薬務課業務対策室	☎0985-26-7060
	静岡市こころの健康センター	☎054-262-3011	宮崎県精神保健福祉センター	☎0985-27-5663
	浜松市精神保健福祉センター	☎053-457-2709	鹿児島県薬務課	☎099-286-2804
	愛知県医薬安全課	☎052-954-6305	鹿児島県精神保健福祉センター	☎099-218-4755
	愛知県精神保健福祉センター	☎052-962-5377	九州厚生局沖縄麻薬取締支所	☎098-854-0999
	名古屋市精神保健福祉センター	☎052-483-3022	沖縄県衛生薬務課業務班	☎098-866-2055
	三重県薬務課	☎059-224-2330	沖縄県立総合精神保健福祉センター	☎098-888-1443
	三重県こころの健康センター	☎059-223-5241		
近畿	近畿厚生局麻薬取締部	☎06-6949-3779		

● 全国各保健所
● 各都道府県警察署

保護者のみなさまへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
～子供たちを薬物乱用から守るために～

子供のまわりには危険がいっぱい



子供たちの身近にあるスマートフォンやパソコンを使って、インターネットから危険な薬物が簡単に入手できてしまいます。うちの子に限って……と油断せず、十分に注意して見守ることが必要です。

子供を薬物から守るチェックポイント

子供の言動に変化がありませんか?

子供を取り巻く環境に目配りを!

- 帰宅が遅くなることが多くなった。
- 理由の分からないお金を欲しがるようになった。
- 食事を家族と一緒に食べなくなった。
- 目を合わせて会話をしなくなった。
- 子供にスマートフォン等を持たせている。
- 子供にインターネットにいつでも接続できるパソコンを使わせている。
- 子供が中学生・高校生と遊ぶことがある。もしくは、友達関係がよく分からない。

1つでも☑があれば注意が必要です!

薬物は子供の脳にダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続くと様々な障害を引き起こします。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害



厚生労働省

〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
TEL:03-5253-1111 (代表)

薬物乱用問題についてさらに詳しくは
厚生労働省ホームページをご覧ください。

厚生労働省 薬物乱用 検索

QRコードで
携帯電話でも
ご覧いただけます。
(2021年度版)



厚生労働省

文部科学省

薬物乱用は身近な問題です。「うちの子には関係ない」と思っていませんか？

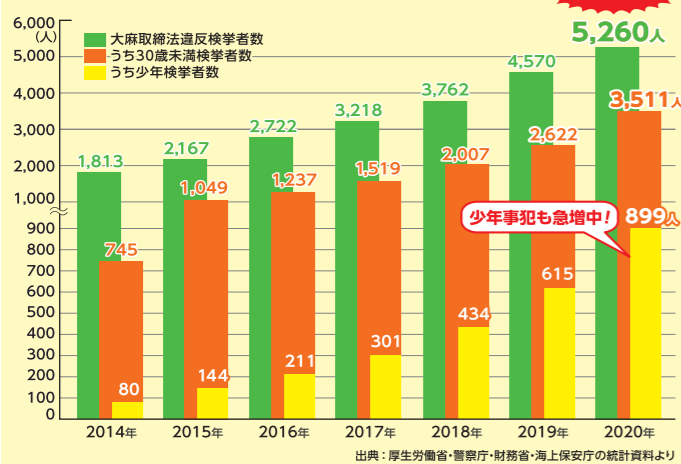
大麻で検挙される若者が急増しています！

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2020年には大麻の検挙者数は過去最多の5,260人となり、そのうち約66%は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが20歳未満の若者で、2020年には6年前の11倍以上となる899人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している「大麻は身体への悪影響がない」などの間違った知識や情報に、若者たちが影響されていることが考えられます。保護者のみなさまも正しい知識や情報を持って見守る必要があります。



【大麻取締法違反検挙人員の推移】



【大麻を初めて使用した動機(対象者748人・複数回答)】

区分	初回使用時年齢				全体
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	
好奇心・興味本位	57.0%	52.5%	40.0%	53.8%	53.8%
その場の雰囲気	18.5%	15.8%	2.0%	15.4%	16.4%
クラブ・音楽イベント等の高揚感	4.8%	5.3%	8.0%	0.0%	5.1%
パーティー感覚	3.2%	3.2%	2.0%	0.0%	3.0%
ストレス発散・現実逃避	4.5%	11.3%	24.0%	15.4%	8.6%
多幸感・陶酔効果を求めて	8.8%	5.5%	14.0%	0.0%	7.3%
その他	3.2%	6.4%	10.0%	15.4%	5.8%

出典：警察庁「令和2年における組織犯罪の情勢」より

SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。特にSNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。子供たちもそうした情報に簡単にアクセスすることができ、実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件も複数報告されています。

SNSを通して違法薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。子供たちがSNSを活用している場合は、注意して見守ることが大切です。



大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて!

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



大麻のこと甘く見てはいませんか？

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違っただ情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です!

出典：令和2年版犯罪白書-薬物犯罪-(法務総合研究所)をもとに作成

大麻は身体への悪影響はない? → NO 間違いです!



インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な影響があります。

大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。間違っただ情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!



大麻の乱用による影響		大麻の有害性		大麻を長く使い続ける影響	
知覚の変化 時間や空間の感覚がゆがむ	学習能力の低下 短期記憶が妨げられる	運動失調 瞬時の反応が遅れる	精神障害 統合失調症やうつ病を発症しやすくなる	IQ(知能指数)の低下 短期・長期記憶や情報処理速度が下がる	薬物依存 大麻への欲求が抑えられなくなる

大麻のほかに乱用される薬物



日本で最も検挙者が多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらす、精神依存も強いので非常に危険です。



知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。大量に摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。

医薬品も間違っただ使い方は乱用です!



用法・用量を守って正しく使いましょう!
医師から処方された薬や市販薬は用法・用量を守らないと副作用のリスクが高まります。また、処方された薬を他人に譲ることは大変危険です。インターネットで販売されている海外の医薬品も偽造品などのリスクが高いため、安易な購入は避けましょう。

「薬物乱用の危険」から子供たちを守るために大切なこと・心がけること

子供を薬物乱用の危険から守るためには、保護者が子供の日々の様子を注意深く見守ることが大切です。

子供が自分自身のことを大切にし、悪い誘いを寄せつけず、もし誘われても断る勇気を身につけさせましょう。



危険な場所には近づかない、近づかせない! 危険を感じたら、すぐ逃げるように言い聞かせましょう!

悪い誘いを寄せ付けない、誘われても断る勇気を身につけさせましょう!

子供が自分自身を大切に、周囲の人や物も大切に思う心を育みましょう!